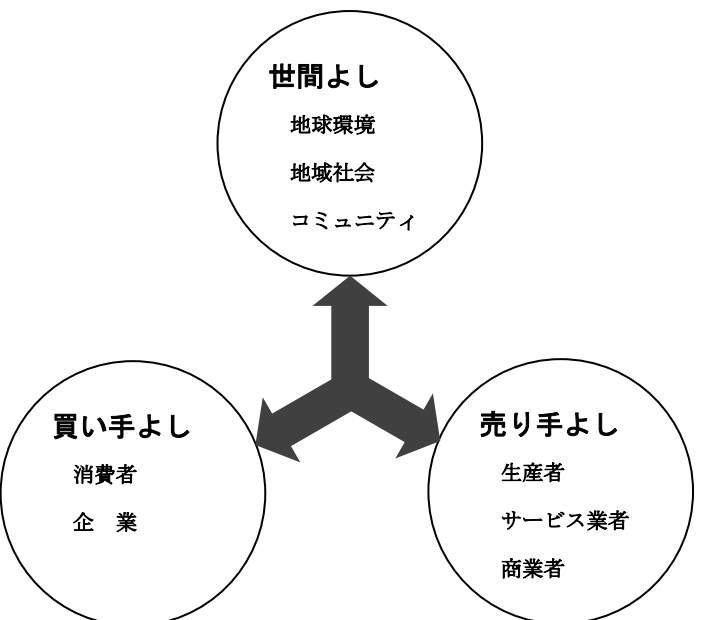


平成二十五年度 岡山県立勝山高専学校自己推薦による入学者選抜適性検査
ビジネス科

次の文章を参考にして、**問**に答えなさい。

江戸時代、近江^{おうみ}を拠点として全国各地で行商^{ぎやうしょう}を行っていた「近江商人」のあいだで言い伝えられてきた言葉に、「三方よし^{さんぽうよし}」というものがあります。「三方^{あきな}」とは、売り手、買い手、世間の三つのこと。「商いをするからには、売り手も買い手も世間も満足させなければならぬ」という商業理念を「売り手よし、買い手よし、世間よし」の「三方よし」と表現したのです。たとえば売り手だけがトクをするような商売は、短期的には儲^{もつ}かっても長くは続きません。また売り手と買い手の双方が満足しても、その商売が世間に迷惑^{めいわく}をかけるものであつてはならない。そういう意味がこめられているのです。

出典 PRESIDENT Online ウェブページ



(注) 近江・・・現在の滋賀県のあたり

行商・・・商品を持ち歩いて販売すること

問

あなたが、スーパーマーケットを経営するとしたら、「売り手よし」・「買い手よし」・「世間よし」のお店にするためにどのような工夫や取り組みをしますか。あなたの考える工夫や取り組みを、「売り手よし」・「買い手よし」・「世間よし」のそれぞれについて、そのねらいも含めて全部で四〇〇字程度（四百四十文字以内）で答えなさい。